

広島女学院のヒロシマとHIROSHIMA その平和学習の取り組みについて

毎年、平和祈念式典で納められる原爆死没者名簿には、「氏名不詳者 多数」とだけ記された1冊があります。確かに存在していたのにもかかわらず、「氏名不詳者」と一括りにされている方々のための一冊です。原爆は命だけではなく、文化や歴史、それらを証するものも奪いました。

広島女学院も原爆によって多くのものが奪われました。しかし戦後、再構築し、未来につなぐ平和教育を実践してきました。その歩みと課題についてお話いたします。

講師： 前田 美和子（広島女学院大学人文学部准教授）

<講師プロフィール>

関西学院大学大学院神学研究科博士課程前期課程修了。大学院時代から関西学院高等部、プール学院高等学校、神戸国際大学附属高等学校、清教学園高等学校で聖書科の非常勤講師を勤める。2012年より広島女学院大学にて勤務。

- 日 時：2024年2月27日（火）10:30～12:30
- 会 場：吉岡記念館会議室1
- 対 象：関西学院教職員・学生

参加ご希望の方は、2月23日（金）までに右のQRコードからご登録ください。

なお、当日も可能です。

詳細はホームページをご確認ください。<https://www.kwansei.ac.jp/c_rcc/r-projects>

